

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		認知症の方との関係性を築く事が苦手である。	利用者さんの伝えたい思いや意向を尊重し 感じとる・察する姿勢・気づきの目を培う。	『感じとる・察する姿勢』 意思疎通の難しい方が言わんとしている事を、 発した言葉や様子(表情や動作等)で捉える。 『気づきの目』 常に利用者さんを見守り、何を・どんな事を求 めているのかを気づく目を養う。	24ヶ月
2			認知症の方にとって、支えてくれる・和やか で安らげる人である。 認知症の方が心地よい場所を、自分達で築 いていく。	相手を自分に置き換えてみる。 自分にとって 「支えてくれる人」とはどんな人だろうか？ 「和やかな人」とはどんな人だろうか？ 「安らげる人」とはどんな人だろうか？ そして自分の心地よい場所とは？ まず考え、そしてケア(声掛けや関わり方)方法 を見つけ実現していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。